

「文化財科学」投稿規定

1. 投稿原稿の筆頭著者および投稿者は本会（日本文化財科学会）の会員であること。
2. 著作権は本会に帰属する。
3. 原稿種別は『一般論文・研究ノート・短報・資料・総合論文・特別寄稿および書評』とする。投稿においては希望種別を明記すること。
 - 一般論文：文化財を対象とした自然科学・人文科学の学際的研究、すなわち文化財科学の論文であって、新しい知見を含み、結論が明確なもの。
 - 研究ノート：文化財科学に関する研究で研究途上の成果や技法・方法論をまとめたもの。
 - 短報：速報的なもの・手法の改善・部分的な改善も可。
 - 資料：各領域において新しく蓄積されたデータや事例報告など。
 - 総合論文：報告書などに発表された個別の研究成果を、特定の視点により総括したもの。
 - 特別寄稿：本会が企画する特別研究の報告、本会が主導する調査の報告や本会大会講演の記録などで本会が特別に寄稿を依頼するもの。
 - 書評：人文科学系あるいは自然科学系の書物で、特に異なる分野への紹介が必要かつ重要と考えられるものの批評・紹介。
4. 投稿に際しては、オンライン投稿を原則とし（投稿方法は、学会ホームページにある「学会誌オンライン投稿要領」を参考のこと。）論文原稿は、既刊の「考古学と自然科学」「文化財科学」を参考に、図表を文章中の希望位置に配置したもの（印刷時体裁を整えたもの）をPDFファイルで投稿すること。
5. 原稿の書式については下記の通りとする。
 - 1) 原稿のページ数は、図表・参考文献・要旨を含み、刷上りで、原則として下記の通りとする。

一般論文：20ページ以内	総合論文：30ページ以内
研究ノート：10ページ以内	特別寄稿：30ページ以内
短報：6ページ以内	書評：2ページ以内
資料：20ページ以内	
 - 2) 原稿はすべてA4判で作成し、10ポイント文字横書き・2段組み（各段39行×25字）余白は上下20mm・左右15mm・段間10mmとする。尚、引用文献部分は1段組みとする（この設定に対応できない場合は、編集委員会に相談のこと。）。)
 - 3) 原稿の使用言語は日本語および英語とする。執筆に当たっては以下の要領に従うこと。
 - ①既刊の「文化財科学」最新号の体裁に従い『論文題目・著者名・キーワード・本文・引用文献』の順に書き、1ページ目の脚注に各著者の所属機関とその住所を記す。キーワードは、論文内容を適切に示す用語で、4～8件程度とし、本文が英文の場合は英語で示し括弧内に日本語で表記する。
 - ②要旨は「論文題目・著者名・所属機関・内容（英文の場合は300語程度、和文の場合は800字程度）」の順に記し、本文が和文の場合は英文、本文が英文の場合は和文で表記する。
 - ③読みにくい地名や遺跡名にはルビを付すこと。
 - ④特殊な専門用語や装置名の略語を使用する場合は、本文中に最初に現れる箇所では略さずに書き、括弧で略語を付すこと。
 - ⑤図表にはキャプション（和文、英文を併記）を入れること。
 - ⑥本文中の引用文献表記は、（松本・吉田：2010）、（松岡ら：2006a）、（青山：2007、松岡ら：2006a）、（Earnest：1999、Zhong and Mao：2008、Matsuda *et al.*：2007）のように簡潔に表記する。同著者で同年の論文が複数ある場合はa,b,c・・・で区別する。
 - ⑦「引用文献」欄では、和文の文献を筆頭著者名の50音順に、続いて外国語の文献を筆頭著者名のアルファベ

ット順に並べる。各文献は「著者名（全員の氏名を略さずに表記）・西暦発表年・論文題目・掲載された学術雑誌名・巻・開始ページ—終了ページ」の順で記す。和文論文の題目は「」で、和文単行本の書名は『』で囲む。外国語論文の題目および単行本の書名は“ ”で囲む。学術雑誌名や出版社名は囲まない。外国語論文題目、単行本の書名は固有名詞を除き初めの単語だけ大文字とする。ページの表記については、単行本総ページを示すときは100 p、学術雑誌および単行本の該当ページを示すときはp.100、pp.100-123のようにする。編者・訳者がある場合など【引用文献の例】または既刊の会誌中事例を参考のこと。

6. 投稿原稿は査読者による審査のうえ、掲載の採否は編集委員会が決定する。編集委員会は著者に対して内容や字句の修正などを求めることがある。
7. 投稿原稿は、編集委員会が原稿の体裁や内容を予備審査し、体裁や内容に不備があれば、論文の審査に進まず、原稿の修正を求めることがある。
8. 内容の審査の結果、修正が求められた原稿は、原則として1ヶ月以内に提出すること。
9. 原稿が編集委員会に届いた日を受付日とし、掲載を了承された日を受理日として掲載論文に明記する。
10. 原稿受理後の印刷用データは、以下の3点をオンライン投稿するか編集事務局宛に郵送すること。なお、オンライン投稿時のファイルサイズは各ファイル100MBまでとする。郵送の場合は、印刷したものを2部、下記データを1枚のCDまたはDVDに収録したものを送付すること。
 - ①論文文章のみのデータ(Wordファイル、もしくはtxtファイル)
 - ②文章に図表の配置を入れたPDFファイル(印刷時体裁を整えたもの)
 - ③図表などのデータをまとめた圧縮ファイル(ZIP形式)
11. 抜刷りは50部を無料とし、それ以上の増刷は認めない。なお論文のPDFファイルは、無料で提供する。
12. 図版のカラー印刷も可能。但し、刷上り1ページにつき5千円を著者負担とする。
13. 投稿に関するお問い合わせや、論文・データを郵送する場合は、下記を連絡先とする。

〒631-8502 奈良市山陵町1500 奈良大学文学部文化財学科内

「文化財科学（前名称：考古学と自然科学）」編集事務局

Tel&Fax 0742 (41) 9548 E-mail: bunkazaikagaku@gmail.com

附 則

1. 本規定の改正は、運営会議の承認を受けるものとする。

【引用文献の例】

青山和夫 2007『古代メソアメリカ文明 マヤ・テオティワカン・アステカ』講談社 130p

松岡雅章・永沢 満・大島弘子・越前佐一郎・君島次男 2006a「黒曜石の水和層における元素分析の問題点」考古科学 10 pp.30-38

松本秀明・吉田真幸 2010『杓形遺跡—仙台市高速鉄道東西線関係遺跡発掘調査報告書Ⅲ—仙台市文化財調査報告書第363集』仙台市教育委員会 pp.4-12

南 雅代・市川 彰 2010「エル・サルバド共和国出土人骨のストロンチウム同位体（予報）」『古代アメリカの考古資料を用いた学術的発展研究』名古屋大学大学院文学研究科 pp.23-30

辻 茂・石原靖夫・望月一史（訳）1991「第59章 鉛白の性質について」辻 茂（編）『チェンニーノ・チェンニーニ 絵画術の書』岩波書店 pp.12-30

Earnest, Jr., H.H. 1999 “A reappraisal of the Ilopango volcanic eruption in central El Salvador” Ph.D. Dissertation to the Department of Anthropology, Harvard University 200p

Matsuda, Y, Tagawa, S., Makino, T. and Teshirogi, M. 2007 “The scientific study, conservation, and reproduction of a sacred lion mask” Proceedings of the third Forbes Symposium at the Freer Gallery of Art pp.141-146

(2019年8月改定)